

さんこう 4) しゃかいさんか かん しょうがいしゃとう いしきちょうさ
【参考4】社会参加に関する障害者等の意識調査について

ちょうさがいよう
1 調査概要

ちょうさきじゅん び へいせい ねん がつ にち
○調査基準日：平成28年7月1日

ちょうさたいしょうしゃ
○調査対象者：

- とうきょうと ない きよじゅう さいいじょう しんたいしょうがいしゃ ち て きしょうがいしゃおよ
東京都内に居住する 18歳以上の身体障害者、知的障害者及び
せいしんしょうがいしゃなら なんびょうかんじゅ
精神障害者並びに難病患者
- しょうがいとうじしゃおよ しえんしゃだんたい
障害当事者及び支援者団体
- と ないしょうがいふくし じぎょうしょうとう
都内障害福祉サービス事業所等
- と ないみんかんきぎょう
都内民間企業

ちょうさ ほうほう ゆうそうはいふ ゆうそうかいしゅう
○調査の方法：郵送配布、郵送回収

じょうほう
■ 情報アクセシビリティについて

げんじょう
① 現状

すひょう しょうがいしゃとう れんらく しゅだん ふくそうかいとう しょうがいしゃ
図表1【障害者等】コミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27)(障害者
そうすう にん
総数1463人) ※省略

ちょうさけっか かん
<調査結果に関するコメント>

れんらく しゅだん がっこう しせつ しょくば かてい た ぼしょ えき
コミュニケーションや連絡の手段は、学校・施設・職場、家庭、その他の場所（駅
やまちなど）のいずれにおいても、けいたいでんわ
「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パ
ソコン」（がっこう しせつ しょくば かてい
学校・施設・職場51.1%、家庭60.8%、その他の場所52.3%）や「メ
ール」（がっこう しせつ しょくば かてい 34.9% た ぼしょ わりあい
学校・施設・職場30.3%、家庭34.9%、その他の場所23.9%）の割合が
たか
高い。

せんたくし
<選択肢とデータ> かいとう おお じゅん
※回答の多かった順

けいたい でん わ
(1)携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン

がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
(学校・施設・職場51.1%、家庭60.8%、その他の場所52.3%)

(2)メール (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場30.3%、家庭34.9%、その他の場所23.9%)

こうわ どもくわ (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
(3)口話・読話 (学校・施設・職場12.2%、家庭13.9%、その他の場所12.0%)

(4)ファックス (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場10.6%、家庭9.8%、その他の場所2.1%)

こうどう み ぶ て ぶ
(5)行動（身振り・手振り）
(がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場9.6%、家庭8.9%、その他の場所6.9%)

ほちようき ほちようえんじょ き き
(6)補聴器・補聴援助機器
(がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場4.4%、家庭5.4%、その他の場所4.8%)

ひつだん (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
(7)筆談 (学校・施設・職場4.8%、家庭4.5%、その他の場所4.6%)

しゅわ (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
(8)手話 (学校・施設・職場2.5%、家庭1.7%、その他の場所1.4%)

かくだい も じ (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
(9)拡大文字 (学校・施設・職場1.0%、家庭1.3%、その他の場所1.2%)

て が も じ が
(10)手書き文字（てのひら書き）
(がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場1.6%、家庭1.3%、その他の場所0.8%)

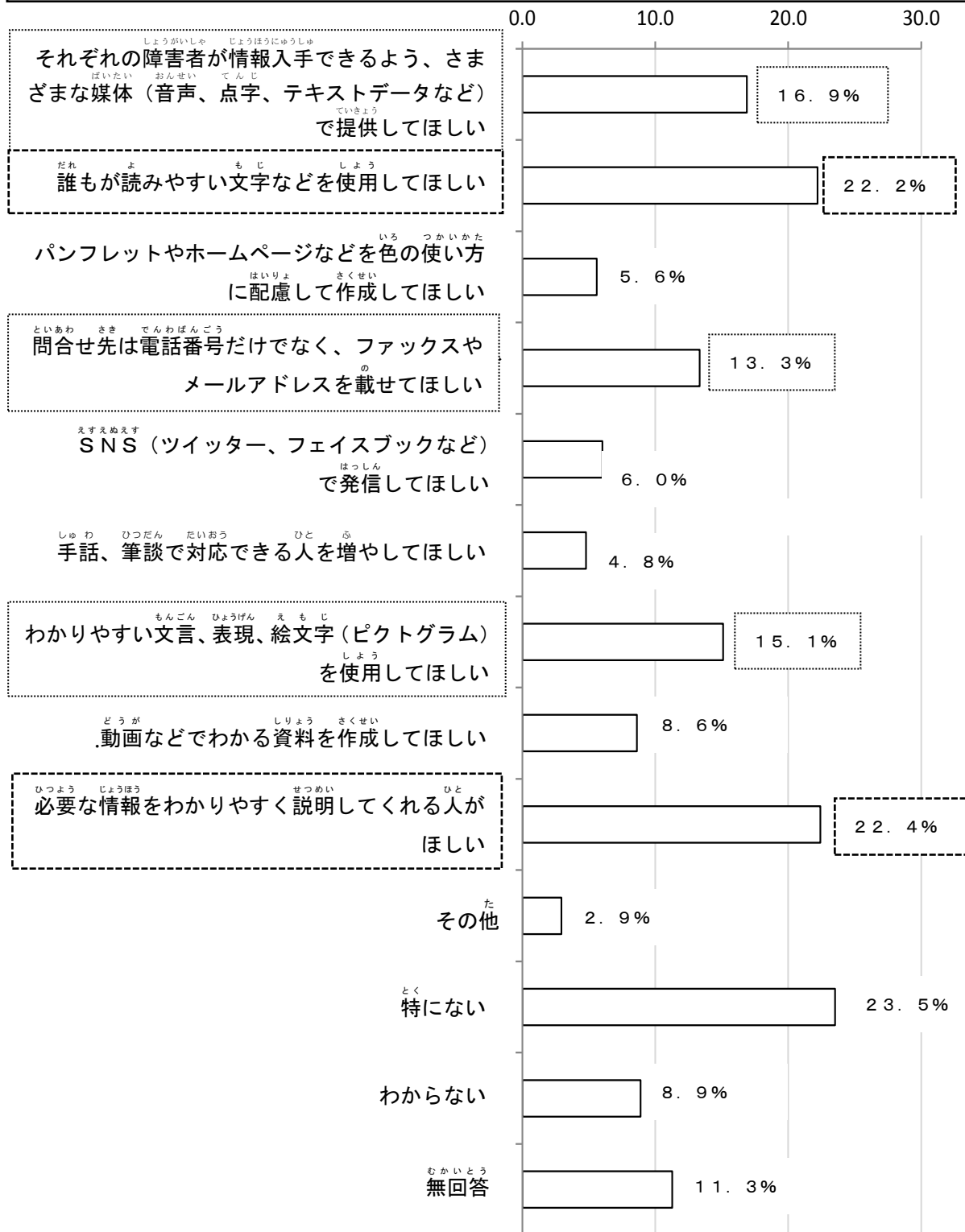
じょうきい が い せんたくし てんじ ゆびてんじ ろくおんぶつ ばん よ あ
※上記以外の選択肢「点字」、「指点字」、「録音物（デージー版など）」、「読み上げ
ソフト・アプリ等」、「朗読サービス」、「会話を文字化するアプリ」、「絵文字（ピ
クトグラム）」を選んだ人の割合は、いずれの場所においても 1%未満であった。

●その他 (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場7.0%、家庭7.7%、その他の場所7.4%)

●無回答 (がっこう しせつ しょくば かてい た ばしょ
学校・施設・職場29.1%、家庭16.0%、その他の場所26.0%)

②必要な支援

図表2【障害者等】情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮〔3つまで選択〕（Q28）（障害者等総数1463人） 棒グラフ



＜図表2（棒グラフ）情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮（3つまで選択）に関するコメント＞

情報アクセシビリティの観点から必要な支援は「必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」（22.4%）、「誰もが読みやすい文字などを使用してほしい」（22.2%）等の配慮を求める障害者等の声が多く、誰もが分かりやすい情報提供が求められている。

図表3【障害者等】情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮
※情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮について、「障害別」と「身体障害の種別」それぞれ上位3位までを表示＞

⇒本資料では、表形式ではなく、同じ内容を以下の通り表示する。

障害別

- 身体障害者（914人） ①特にない23.9% ②誰もが読みやすい文字などを使用してほしい21.7% ③必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい20.4%
- 知的障害者（362人） ①必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい32.0% ②誰もが読みやすい文字などを使用してほしい26.2% ③わかりやすい文言、表現、絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい25.7%
- 精神障害者（241人） ①必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい23.2% ②誰もが読みやすい文字などを使用してほしい21.6% ③特にない18.3%
- 難病医療費助成者（316人） ①特にない30.7% ②誰もが読みやすい文字などを使用してほしい25.0% ③それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい19.3%

身体障害の種類

- 視覚（119人）①それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい 39.5% ②誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 31.1% ③必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 26.9%
- 聴覚（133人）①問合せ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい 32.3% ②手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい 30.8% ③誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 23.3%
- 平衡機能（28人）①必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 32.1% ②わかりやすい文言、表現、絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい 25.0% ③誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 17.9%
- 音声、言語、そしゃく機能（93人）①特にない 22.6% ②必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 21.5% ③わかりやすい文言、表現、絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい 17.2%
- 上肢（175人）①必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 25.7% ②特にない 22.3% ③わかりやすい文言、表現、絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい 17.7%
- 下肢（261人）①特にない 24.1% ②誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 20.3% ③必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 20.3%
- 体幹（105人）①必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 27.6% ②わかりやすい文言、表現、絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい 22.9% ③それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい 18.1%、誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 18.1%

のうげんせいうんどうきのう にん ひつよう じょうほう せつめい ひと
 ○脳原性運動機能（72人）①必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほ
 い 27.8% ②それぞれの障害者が情報入手できるようさまざ
 まな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほし
 い 19.4% ③動画などでわかる資料を作成してほしい 19.4%
 ない ぶしょうがい にん とく だれ よ も じ しょう
 ○内部障害（259人）①特にない 31.7% ②誰もが読みやすい文字などを使用し
 てほしい 21.2% ③必要な情報をわかりやすく説明してくれる人
 がほしい 16.6%

すひょう しょうがいべつ しんたいしょうがいしゅべつ ひつよう はいりょ じょう い い ひょうじ ひょう
 <図表3（障害別、身体障害種別に必要な配慮の上位3位までを表示した表）に
 かん
 関するコメント>

しょうがいべつ しんたいしょうがいしゅべつ し か く しょうがいしゃ じょうほうにゆうしゅ
 障害別、身体障害種別にみると、視覚は「それぞれの障害者が情報入手できるよ
 うさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい」、「誰も
 が読みやすい文字などを使用してほしい」が、聴覚は「問合わせ先は電話番号だ
 けでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」、「手話、筆談で対応で
 きる人を増やしてほしい」が他の身体障害種別に比べて高い。知的障害者は「わ
 かりやすい文言、表現、絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい」が他の障害に
 くら たか
 比べて高い。

ずひょう しょうがいしゃだんたい じぎょうしょ とうじしゃかいいん りょうしゃ じょうほうにゆうしゅ
 図表4【障害者団体、事業所】当事者会員／利用者の情報入手やコミュニケーション
 ンにあるとよい配慮〔複数回答／3つまで選択〕（障害者団体Q16、事業所Q17）
 しょうがいしゃだんたいそうすう けん じぎょうしよそうすう けん
 （障害者団体総数23件、事業所総数 645 件）

※元資料では、障害者団体、事業所からの回答結果を棒グラフ（横）で表示

⇒本資料では、グラフの表示は省略し、データを以下の通り記載。

<データ>

- 1.それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキ
 ータなど）で提供してほしい（障害者団体47.8%、事業所26.0%）
- 2.誰もが読みやすい文字などを使用してほしい（障害者団体26.1%、事業
 33.3%）

3.パンフレットやホームページなどを色の使い方に配慮して作成してほしい
(障害者団体26.1%、事業者10.1%)

4.問合せ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい
(障害者団体47.8%、事業者12.9%)

5.SNS(ツイッター、フェイスブックなど)で発信してほしい(障害者団体21.7%、
事業者6.4%)

6.手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい(障害者団体17.4%、事業者4.7%)

7.わかりやすい文言、表現、絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい(障害者団体
34.8%、事業者50.9%)

8.動画などでわかる資料を作成してほしい(障害者団体26.1%、事業者32.7%)

9.必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい(障害者団体21.7%、事
業者47.3%)

10.その他(障害者団体8.7%、事業者2.0%)

11.特にない(障害者団体4.3%、事業者4.8%)

12.わからない(障害者団体4.3%、事業者2.8%)

13.無回答(障害者団体17.4%、事業者4.0%)

<図表4(棒グラフ)に関するコメント>

障害者団体からは「それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、
点字、テキストデータなど)で提供してほしい」(47.8%、11団体)、「問い合わせ
先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」(47.8%、
11団体)、事業所からは「わかりやすい文言、表現、絵文字(ピクトグラム)を使用
してほしい」(50.9%)、「必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」
(47.3%)という意見が多かった。表現方法に配慮しつつ、様々な方法で情報提供
を行い、かつ丁寧な説明を 求める意見がみられた。